

# 令和5年度 小金井市立南小学校 授業改善推進プラン

## 1 授業改善の方針

○基礎学力の向上を図る。(ICTの活用)
○「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを図る。(ICTの活用)

## 2 児童の現状分析

### (1) 全国学力・学習状況調査

国語	○「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、全国平均を下回っている。特に、「話すこと・聞くこと」に関しては、平均と大きく隔たりがある。対話的な活動の機会を増やしていく必要がある。
算数	○基礎基本の定着に差がある。また、既習事項を活用したり、応用問題をすすんで解こうとしたりする意欲や思考力にも差がある。

### (2) 児童・保護者・教職員アンケート

1年生○学習活動に前向きに取り組む児童が多い一方で、物事を正確に理解し、表現することに課題がある児童もいる。
2年生○意欲的な児童は多いものの、読み書きや文章読解、計算や量感覚など基礎基本の学力に課題がある。
3年生○新しい学習に意欲的な児童が多い一方で、個々の中で得意な教科、苦手な教科がはっきりし始めている。
4年生○既習事項を生かして学ぼうとする児童が多い。相手に分かりやすく書いたり伝えたりすることに課題がある。
5年生○学習課題に対して意欲的に取り組むことができる。友達の考えを聞いて自分の考えを広げることができる。しかし、一方で、物事を多角的・多面的に捉え、自分の考えを形成することには課題がある。
6年生○学習に対して前向きな児童が多く、課された課題には意欲的に取り組むことができる。自分なりの考えを見出したり、表現したりすることに課題がある。また、学力差も目立つ。

## 3 各教科等における授業改善の視点

国語	低学年	○読み聞かせ、読書、音読などの学習活動を重視し、様々な文章に触れる機会を充実させる。 ○日記、手紙、簡単な物語をつくるなどの学習活動に取り組むことによって、自分の思いや考えを表現する力を育てる。また、感想を共有など、対話的な学習を多く設定していく。
	中学年	○必然性を感じるゴールを設定し、ヒントとなる言葉や、キーワードを意識させて主体的に読み取れるようにする。 ○ICT 機器を用いた活動を取り入れ、自分の意見や考えを書く機会を設定し、表現力を育てる。また、互いの意見や考えを共有することで自分の学習に生かすようにする。
	高学年	○自分の考えを文章で分かりやすく表現できるように授業で書く機会を必ず設定する。 ○単元の中で対話的な学習を設定し、共有することで、考えを広げたり深めたりできるようにする。
社会	中学年	○資料から分かることや考えられることを発表し合う時間を設け、学習していく問題をクラス全体で共有できるようにする。 ○地域の人々の協力や努力を理解し、自分たちにできることを考え、地域の一員としての意識をもたせる。
	高学年	○調べる際に、視点を明確にし、必要な資料を選んだり読み取ったりする力を育てる。 ○資料に示されている事柄の全体から細部を捉えたり、背景を予想したりする時間を設ける。
算数	低学年	○ブロックなどの具体物を使ったり、計算練習の時間を設けたりして、学習の基礎・基本となる計算力を身に付けられるようにする。
	中学年	○具体物などとともに、ICT 機器を用いた活動を通して量感を養い、問題場面を想起できるようにする。
	高学年	○課題把握、課題解決に向けた見通しをもたせたり自分の考えを見出したりできるように問い返しや対話をする時間を十分にとる。また、ICT 機器を活用し、習熟の時間を十分にとる。
理科	中学年	○ICT 機器を活用して実験や観察の様子を記録し、データを共有しながら理解を深められる

		<p>ようにする。</p> <p>○実験や観察の学習前後に ICT 機器を活用し、動画教材等で実験や観察の予想をしたり学習内容を振り返ったりして、理解を深められるようにする。</p>
	高学年	<p>○ICT 機器で、学習の理解を視覚的に補助したり、学び合いのツールとして活用したりする。</p> <p>○単元のまとめでは、重要な語句を提示し、それらを使って文章を書いたり、発表させたりして確実に理科の用語を定着させ、理解を深められるようにする。そのための時間を確保できるようにする。</p>
生活	低学年	<p>○地域の学習材を生かした活動を重視することによって、自分と地域のつながりについての気付きが生まれるようにする。</p>
音楽	低学年	<p>○歌唱、器楽の活動を通して、協働して音楽活動をする楽しさを味わえるようにする。</p>
	中学年	<p>○音楽の良さや感じたことを ICT 機器、拡大楽譜など活用し言語化・視覚化し、共有できるようにする。</p> <p>○新たに学ぶ単音、短いフレーズ、大切な箇所を全員ル形式、スモールステップで行い定着させる。</p>
	高学年	<p>○音楽の良さや感じたことを ICT 機器、拡大楽譜など活用し言語化・視覚化し、共有できるようにする。</p> <p>○新たに学ぶ単音、短いフレーズ、大切な箇所を全員ル形式、スモールステップで行い定着させる。</p>
図画工作	低学年	<p>○身近な題材を用意し、豊かな発想ができるようにするとともに、道具の基本的な使い方を指導し、活用できる場と時間を設定する。</p>
	中学年	<p>○一人ひとりの作品の価値を理解し自分と友達の作品を大切に作る態度を養う</p> <p>○段階を踏んで完成する工作を経験し、自分の表現を計画的に制作できるようにする。</p> <p>○写真撮影など ICT 機器の基本的な活用を体験する</p>
	高学年	<p>○自分の考えを、自分の方法で表現しようとする。自分の表現と友達の表現の良さを解り、味わうことができる。</p> <p>○ICT 機器による適切な情報収集を行い、自分の知識や感性を養うことができるようする。</p>
家庭	高学年	<p>○調理実習や裁縫などの実践経験を工夫して行い、日常生活に必要な技術を養う。</p>
体育	低学年	<p>○友達と関わり合いながら体を動かす活動を設定する。</p> <p>○ICT 機器を活用して、動きのポイントを視覚的に確認・共有する。</p>
	中学年	<p>○振り返りの時間に次回の課題を意識させ、全体で共有する時間を設ける。</p> <p>○自分やチームの課題に向き合い、解決しようと努力する態度を養う。</p>
	高学年	<p>○ICT 機器を活用して自分の運動を客観的に観て課題を明確にできるようにしたり、学習における技能の変化や成長を捉えたりできるようにする。</p>
外国語	中学年	<p>○関わり合う活動を通し、友達と楽しみながら外国語に親しむようにする。</p> <p>○ゲームや歌などの活動を多く取り入れ、楽しみながら表現に慣れ親しむようにする。</p>
	高学年	<p>○「新しい表し方を知る→発音する→ゲームで力を高める」を繰り返し行う。</p> <p>○表現を身に付けるために、ALT と短い文章を使ったやり取りや単語の練習を繰り返し行う。また、授業の最後に学習の振り返りを行い、学習の成果を明確にする。</p>
道徳	低学年	<p>○場面絵を ICT 機器等で示し、道徳的諸価値に迫り、自己の生き方について考えがもてるようにする。</p>
	中学年	<p>○終末の時間で、今後なりたい自分やよりよい生き方について考える時間を十分にとり、道徳的心情・態度を育てる。</p>
	高学年	<p>○事前アンケートや ICT 端末の思考ツールを活用する。</p> <p>○日頃の体験から抱えている問題意識を、授業場面（導入時）に生かす。また、展開の中で、考え・議論する時間を設け、多様な視点から語り合うことで、自己のよりよい生き方を考えていけるようにする。</p>
総合	中学年	<p>○ICT 機器を活用して、検索をとおして課題に合った資料を探したり、調べたことをまとめたりすることができるようにする。</p>
	高学年	<p>○どのような事柄について学年で深めていくか見通しをもたせて活動を行っていく。また、ICT 機器を活用して調べたり、資料提示の工夫や実体験を踏まえたことをまとめたりしていく。</p>